

長岡高専、新潟大学の学生たちが八十里越工事現場を見学！ ～5号橋梁の床版工事～

9月2日に長岡工業高等専門学校5名、9月12日に新潟大学大学院4名の職員及び学生が、国道289号八十里越事業の5号橋梁床版工事を見学しました。この見学会は、八十里越事業の最後の大規模構造物である5号橋梁(最大橋脚高さ約81m)の床版工事(鋼製床板の架設、配筋、CO打設等)を現在施行中であることから、将来の建設業界を担う人材育成を目的として実施したものです。

初めて参加した学生から「このような現場に来る機会はなく、貴重な経験だった。」、昨年度も参加した学生からは「工事の進捗が確認でき勉強になった」との意見があり、今回の見学が、学生たちの将来の進路を決めるときの参考になれば幸いです。



【5号橋梁の橋脚付近で説明を受ける学生たち】



【5号橋梁床版工事の説明】

